

令和3年度

学校法人爽青会

ルネサンス デザイン・美容専門学校

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

令和4年3月

学校法人爽青会

ルネサンス デザイン・美容専門学校

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価委員会 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 理事長代理 中野良太
4. 教務部部长 前田健一
5. 教務部 杉浦英樹
6. 教務部 大城陽功
7. 教務部 竹田侑里

監査委員

1. 藤原研一（専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー教頭）
2. 鈴木博昭（専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー事務局係長）

学校関係者評価委員会 委員名簿

1. 鳥居春仁（元静岡県立浜松北高等学校校長）
2. 上野弘道（公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長）
3. 坂元祥彦（一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事）
4. 平井伸幸（株式会社レボル代表取締役社長）
5. 望月 智（株式会社ジェットスタジオ取締役）

自己点検・評価表 (ISO 29993 Ver1.3)

実施日: 2022年1月17日

学校名: ルネサンス デザイン・美容専門学校

改訂版: 2022年1月26日

1. 学校の教育目標

『日本人ならではの徳性を活かし、新旧の美意識から学び、日本流・新デザインで世界の夢をカタチにする』

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【爽青会行動指針】さあ、やってやろう！
【教職員行動目標】ゼロベース・シンキング

《デザイン美容校》

- ・【デザイン美容共通(営業方針)】V字回復2年目として①広報活動の分析・特化、②キックザニア的経験の普及
- ・【デザイン美容共通(教育方針)】上位層の育成と対外発信力強化
- ・【デザイン系】IL科の更なる強化具体策
- ・【美容系】HD科入学者倍増により他校と対等な学科へ

3. 評価項目の達成及び取組状況

ストロングポイント・・・④、適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

1 教育理念・目標		自己点検	学校関係者 平均
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	4
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	4	4
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
1	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4

① 課題

コロナ禍により首都圏等への企業訪問が限定的となり、直接的な業界ニーズの調査が不足する傾向にある。

② 今後の改善方策

昨年10月に首都圏5社のゲーム・イラスト制作会社を訪問している。今後もリモートを活用しつつも、直接的なコネクション作りも進めていく。

③ 特記事項

全学科1年生を対象とした授業「ルネサンス・メソッド」にて、本校の人材育成像は学生にも分かりやすく伝えられている。

2 学校運営		自己点検	学校関係者 平均
2	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
2	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
2	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
2	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	4
2	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
2	7 専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の週当たりの担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか)	4	4
2	8 教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	4	4
2	9 業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組ができていないか(苦情及び要請への対応を含む)	④	4
2	10 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
2	11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3.6
2	12 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)	4	4
2	13 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	4
2	14 学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4

① 課題

ファイルサーバー内のデータ整理が出来ておらず、必要な情報へのアクセスに時間が掛かる現状である。

② 今後の改善方策

サーバー内のフォルダ管理ルールを定め、情報共有の円滑化を図る。

③ 特記事項

高校の広報活動に対する支援では、ポスター制作とWebページ改修を担当した。デザイン系学科を持つ本校の独自性を活かせる分野であり、地域高校との連携強化に有効である。

3 教育活動		自己点検	学校関係者 平均	
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
3	2	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	4
3	3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
3	4	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
3	5	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	4	4
3	6	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	4	4
3	7	講義および実習に関するシラバスは作成されているか(学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか)	4	4
3	8	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	4	4
3	9	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	④	4
3	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか	4	4
3	11	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか(あるいはホームページなどで公開されているか)	4	4
3	12	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか	4	4
3	13	カリキュラムの作成・見直し等に関し、定期的に外部者(企業・団体、学会・協会、関連する業界団体等)の評価や意見を取り入れているか(ニーズ分析の結果を利害関係者間で共有しているか)	4	4
3	14	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備され、公表されているか	4	4
3	15	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4	4
3	16	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか(スポンサーの学習サービスに対する満足度の分析、並びにスポンサーからの学習サービスの質向上に関するフィードバック及び提案の分析を含む)	4	4
3	17	アセスメントの結果は、公平性、透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	4	4
3	18	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか	2	3
3	19	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	4	4
3	20	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか	4	4
3	21	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の出版及び著作権について、適正に処理できているか	4	4

① 課題

教育課程表の作成に関する理解に不整合を確認した。

② 今後の改善方策

教育課程表の作成に関して、正しい理解をするため教頭による指導が行われた。

③ 特記事項

今年度より地域のプライダル企業と連携した「プライダル実習」を今年度より開始。専攻学生(6名)中の3名が本提携授業を通じた内定確保に繋がった。

4 学修成果		自己点検	学校関係者 平均
4	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	4	4
4	2 就職率の向上が図られているか(卒業生の就職率)	3	3.6
4	3 目標とする資格試験等への合格率はどうか	④	4
4	4 退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	④	4
4	5 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	4	4
4	6 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
4	7 要請があった場合には、学習者又はスポンサーに対して、a) 学習サービスの名称及び目的やb) 指導時間数、c) 達成度などの情報を含む修了証明書を提供しているか	4	4
4	8 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
4	9 コースの開始前又は開始時に、学習する内容に関して学習者が有するコンピテンスのレベルについて、アセスメントを行っているか	4	4
4	10 コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	4	4

① 課題

イラストレーション科学生にて、受験企業と本人能力とのミスマッチングによる内定確保の遅れが発生している。

② 今後の改善方策

3年次の就職指導システムを再構築し、2022年度より運用を開始する。

③ 特記事項

美容師科の美容師国家試験は、4年連続となる100%合格を達成。またその他検定でも、2級以上の上位級を除き概ね80%以上の合格率を達成している。今年度の退学者は2名のみであり、入試における選考、およびクラス担任による日常の指導が適切である結果と言える。

5 学生支援		自己点検	学校関係者 平均
5	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか)	4	4
5	2 学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	4	4
5	3 保護者と適切に連携しているか(保護者のニーズを把握しているか)	4	4
5	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	4
5	5 卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか	3	3.4
5	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
5	7 奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4	4
5	9 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5	10 学生の生活環境への支援体制はあるか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4	4
5	11 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	4
5	12 学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	4	4

① 課題

卒業生とのコネクション強化により、卒業生への支援強化と在校生へのキャリア教育への波及を図りたい。

② 今後の改善方策

創立30周年に向け、現校友会三役と30周年記念イベントを検討中である。

③ 特記事項

地域の高校と年間6回の提携授業を実施。デザイン・美容に関わるキャリア教育・職業教育に貢献している。中には、高校における美術の授業時間枠を本校教員が6回続けて担当するケースもある。また美大卒で入学した学生は県内のイラストコンペにて受賞するなど、上位層の育成にも成果を挙げている。

6 教育環境		自己点検	学校関係者平均
6	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	4	4
6	2 カリキュラム上必要となる実習に用いる教材・器材及びソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。また必要な数の教材及びライセンスが準備されているか	4	4
6	3 教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	4	4
6	4 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
6	5 防災に対する体制は整備されているか	4	4
6	6 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4

① 課題

2022年度の海外授業実施は引き続き見通しが立たず、国内での代替研修の検討が必要。

② 今後の改善方策

今年度を実施した専門施設への滞在や、海外の学校と連携したりリモート交流授業などを踏まえつつ、学科ごとの教育目標に照らし合わせて検討を行う。

③ 特記事項

2021年12月より外壁改修工事を実施中(2022年3月終了予定)。今年は美容師科を対象に美容師養成施設の定期査察が行われたが、問題となる指摘事項はなかった。

7 学生の受入れ募集		自己点検	学校関係者平均
7	1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
7	2 履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
7	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
7	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
7	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか(評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか)	4	4
7	6 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
7	7 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
7	8 学納金は妥当なものとなっているか	4	4
7	9 学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	4	4
7	10 学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか	④	4
7	11 教授資格、教歴及び背景など、学習サービスを担当するファシリテーターのプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか	4	4
7	12 学習サービスの請求書は、明確、かつ学習者(又は適切な場合には経費支弁者)が何の代金を請求されているのか理解できるよう、必要な全ての詳細を含んでいるか	4	4
7	13 学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	4	4

① 課題

入学検討者へ十分に情報が伝わっていないこと等により、入学者の確保の面で定員充足率が低い学科がある。

② 今後の改善方策

高校訪問・校内ガイダンスなど募集活動を直接に行うエリアを近隣地域に絞り込み、集中的な募集活動を展開する。

③ 特記事項

全科全学年でクラス担任制を採ることにより、学生の成長レベル・課題・悩みを把握した上で適切な指導がリアルタイムに行えており、結果として低い退学率(1.1%)に繋がっている。

8 教育の内部質保証システム		自己点検	学校関係者 平均
8	1 学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか(定期的に実施しているか)	4	4
8	2 評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか	4	4
8	3 適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(学習ニーズの充足や教育内容、カリキュラム、教材を評価しているか)	4	4
8	4 適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(適格者によるモニタリング及び評価を実施できているか)	3	3
8	5 教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	4
8	6 学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	4	4
8	7 全ての教員・講師に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	④	4
8	8 専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員・講師の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	4
8	9 教員・講師に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか	3	3.2
8	10 職業関連分野における業界等との連携において優れた教員(専任・非常勤含め)の提供先を確保するなどの取組が行われているか	4	4
8	11 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
8	12 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
8	13 アセスメント結果のレビュー等が適切に行えるよう、文書管理規程や文書管理リスト(ファイル管理簿)が整備されているか	4	4
8	14 自己点検・評価結果を公開しているか(報告では、学習サービスの目的を踏まえ、明確に結論及び根拠を説明しているか)	4	4
8	15 代講が必要な場合、適格なファシリテーターが対応できるように手配し、当該ファシリテーターに学習サービスの準備及び提供について指導しているか	4	4
8	16 ファシリテーター及び学習者に対して、印刷教材・電子教材の複写及び利用に関する規則について情報提供しているか	4	4
8	17 教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	4	4
8	18 質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	3	3.6

① 課題

授業の実地調査や観察などを行ってはいるが、その記録が存在していない。

② 今後の改善方策

現地での改善指導や対応について、内容の記録を徹底する。

③ 特記事項

イラストレーション科では、現役で活躍中の人気イラストレーターを招聘した授業カリキュラム「イラストレーションゼミ」を展開しており、最前線で求められる技能・思考を学べる環境を担保している。

9 財務		自己点検	学校関係者 平均
9	1 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
9	2 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
9	3 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
9	4 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4

① 課題

財務基盤が安定している一方、教員数を維持することが課題である。

② 今後の改善方策

人材難の時代のため、人材が流出してから採用活動するのではなく、計画的な採用活動を行う。新たな採用チャネルも模索する。(新卒採用、本校卒業生採用、新たな求人媒体業者との契約など)

上記のため余裕を持った予算取りをする。

③ 特記事項

なし

10 社会貢献・地域貢献		自己点検	学校関係者 平均
10	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	4
10	2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
10	3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

デザイン・イラスト分野を中心に、地域観光・産業のプロモーションに寄与するコラボレーションを年間で14件実施。社会貢献を通じて学生の自信にも繋がっている。

11 国際交流(必要に応じて)		自己点検	学校関係者 平均
11	1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—	—
11	2 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—	—
11	3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—	—
11	4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか (該当する場合には、広く知られている国内又は国際的(測定)尺度を参照しているか)	④	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

海外授業代替研修では、現地学校とリモートによる交流授業を実施。双方の学生にとって、将来的な海外への作品発表を期待させるプロジェクトとなった。2022年度の海外授業に関しては、コロナ感染状況に照らし合わせつつ、国内での代替研修あるいはリモートによる海外交流授業の実施を、学科特性に合わせて検討する。